

# シンポジウム

## 「東日本大震災からの教訓、これからの新しい国づくり」

開催日：2012年3月1日（木）～2日（金）

会場：建築会館（東京都港区芝5丁目26番20号）

主催：日本建築学会 [www.aij.or.jp](http://www.aij.or.jp)

後援：空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、こども環境学会、地盤工学会、土木学会、日本機械学会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本鋼構造協会、日本コンクリート工学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本造園学会、日本都市計画家協会、日本都市計画学会、日本免震構造協会（五十音順）

### プログラム

3月1日（木） 9:00～19:10（建築会館ホール）

開会あいさつ（9:00～）

東日本大震災から一年（9:05～）

新しい国づくり 東北からのメッセージ 田中礼治（東北支部長、東北工業大学教授）  
地震動と建築被害から見た東日本大震災の教訓 一都市・建築の総合的地震防災対策のために一  
源栄正人（東北大学教授）

日本建築学会の活動報告（9:35～）

東日本大震災調査復興支援本部をはじめとする委員会・部会の5つの活動報告

招待講演（10:40～）

土木学会の社会安全への取り組み	山本卓朗（土木学会会長）
東北地方太平洋沖地震	島崎邦彦（東京大学名誉教授）
時代を変えた震災復興とそれを支えた人々	武村雅之（小堀鐸二研究所副所長）
建築研究所の活動報告	伊藤 弘（建築研究所理事）
津波の恐ろしさと人々の対応	今村文彦（東北大学教授）

行政の活動（13:25～）

津波被災市街地の復興まちづくり	望月明彦（国土交通省都市局市街地整備課長）
建築・住宅行政における対応	井上勝徳（国土交通省住宅局建築指導課長）
文化財の被害とその対応	村田健一（文化庁文化財部参事官）

自治体の活動と復興計画（14:40～）

大船渡市	戸田公明（大船渡市長）
名取市	大村虔一（名取市新たな未来会議議長）
福島県	鈴木 浩（福島県復興ビジョン検討委員会座長）

各分野の調査研究に関する9つの報告（16:05～）

3月2日（金） 一般講演（3室を使い、約90の調査研究発表）

3月1日（木）～3月4日（日） 画像・映像の展示（建築博物館ギャラリー）

参加費：A）一般講演者（投稿料、梗概集代含）

会員 5,400円、学生（修士まで）4,500円、会員外 10,000円

B）一般参加者（梗概集代含）

会員 4,000円、学生（修士まで）3,000円、会員外 6,000円

東日本大震災および一連の災害による被災地から参加の方は、参加費無料といたします。  
（資料代は実費を頂戴いたします）

申込方法：日本建築学会のホームページより事前に申し込んでください。

なお、参加費は、①クレジットカード、②銀行振込、のいずれかの方法でお支払いをお願いします。

問合せ先：日本建築学会事務局 三島 隆・小野寺篤・浜田政治

TEL：03-3456-2051、E-mail：mishima@aij.or.jp、onodera@aij.or.jp、hamada@aij.or.jp

写真はアーキエイドの牡鹿半島調査より 撮影：新 良太（背景+左） 恋水康俊（右）

**Archi+Aid**  
Relief and Recovery by Architects  
for Tohoku Earthquake and Tsunami

